

Aichi-Nagoya

Aichi-Nagoya
Startup Ecosystem Consortium

**Central Japan
Startup Ecosystem
Consortium**

Hamamatsu

浜松市スタートアップ
戦略推進協議会

浜松市スタートアップ 戦略推進協議会 進捗報告

令和3年8月17日

浜松市産業部スタートアップ推進課

I. エコシステム形成推進主体について

1. エコシステム形成の目標・KPI

ビジョン

スタートアップのアイデアと、ものづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出すことで、地域経済の持続的発展につなげていく。

将来的には、このエコシステムを通じて、世界中のスタートアップのビジネスの成長を加速させ、我が国における「ものづくりスタートアップの拠点」としての役割を担うことで、日本経済の発展に寄与する。



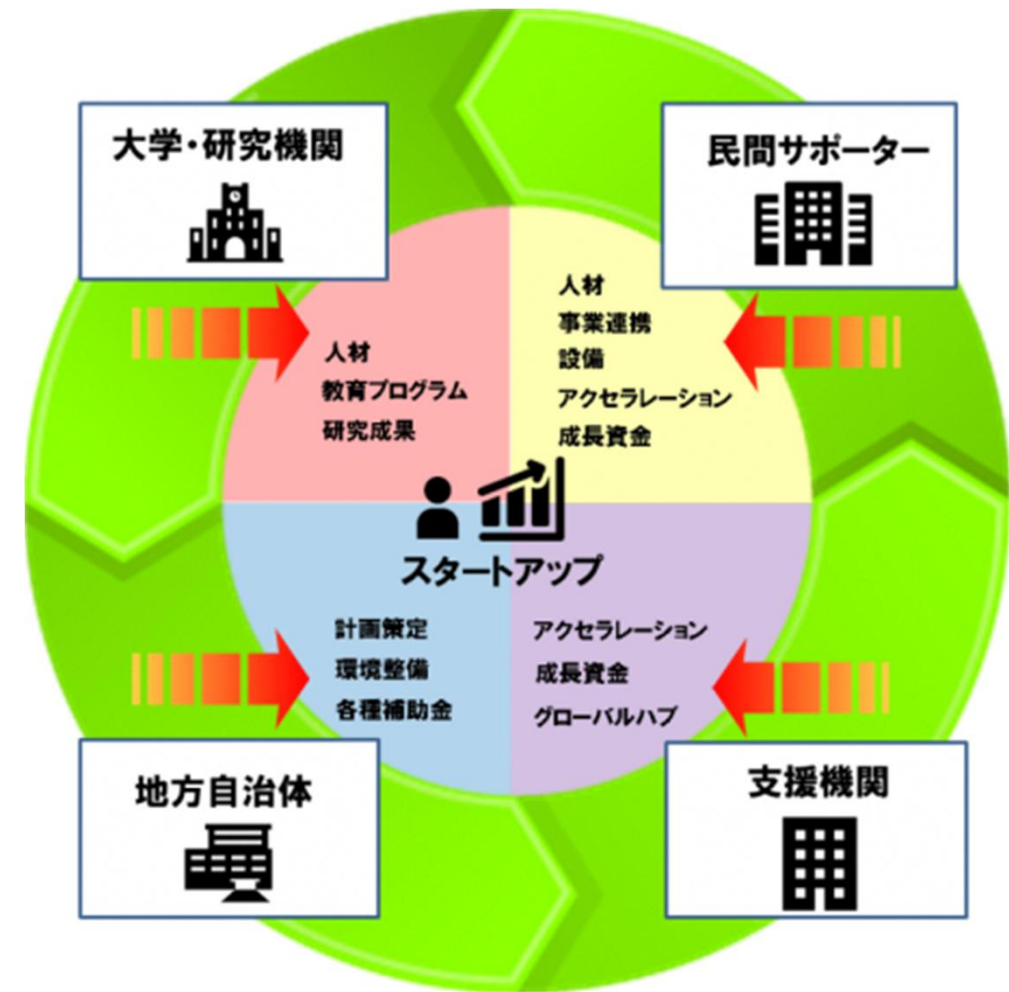
KPI R2.4～R7.3

生まれる	スタートアップの創業数
	10社/年→ 30社/年
育つ	スタートアップ・エコシステムの形成に寄与するイベントの開催数
	102回/年→ 300回/年
	市内スタートアップのファンドによる資金調達額
	11億円/年→ 30億円/年
集まる	市内スタートアップと企業・大学等との新規連携件数
	25件/年→ 75件/年
集まる	市外からのスタートアップ進出数
	4社/年→ 12社/年

I. エコシステム形成推進主体について

2. エコシステム形成主体の構成組織と役割分担

ID	団体	区分
1	国立大学法人静岡大学	大学・研究機関
2	国立大学法人浜松医科大学	
3	学校法人光産業創成大学院大学	
4	株式会社静岡銀行	支援機関
5	浜松磐田信用金庫	
6	浜松商工会議所	
7	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	
8	独立行政法人 日本貿易振興機構 浜松貿易情報センター	
9	ヤマハ株式会社	民間サポーター
10	スズキ株式会社	
11	浜松ホトニクス株式会社	
12	株式会社ソミックマネージメントホールディングス	
13	リンクウィズ株式会社	スタートアップ
14	株式会社ANS e e N	
15	浜松市	自治体



I. エコシステム形成推進主体について

3. エコシステム形成の目標・KPI関連指標の現状

	KPIの基準値 (H30.10月 ～R1.9月)	令和元年度 (H31.4月～ R2.3月)	令和2年度 (R2.4月～ R3.3月)	戦略最終年度 令和6年度 の目標数値
スタートアップの 創業数(年間)	10社	16社	24社	30社
スタートアップ・エコ システムの形成に寄与 するイベントの開催数 (年間)	102回	117回	145回	300回
市内スタートアップ のファンドによる 年間資金調達額	11億円	29.6億円	56.16億円	30億円
市内スタートアップ 等と企業、大学等と の新規連携件数	25件	29件	32件	75件
市外からのスター トアップ進出数	4社	4社	25社	12社

Ⅱ. 地方自治体の取組

1. スタートアップ支援

令和3年度の主な支援事業

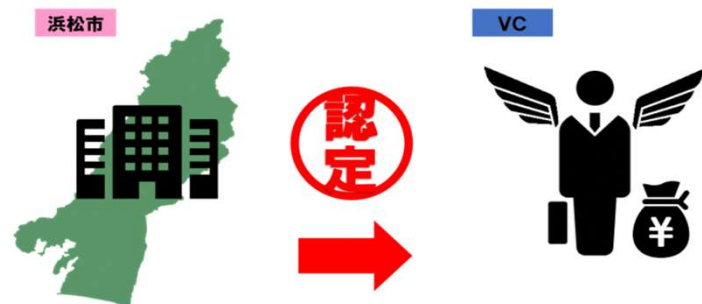
ヒト・技術	モノ	カネ	情報	総合
① NextInnovator育成事業 ②ベンチャー経営塾 ③浜松ベンチャー連合	①サテライトオフィス整備・運営（はままつトライアルオフィス、舞阪サテライトオフィス、天竜トライアルオフィス）	①ファンドサポート事業 ②進出支援事業費補助金 ③お試し進出補助金 ④進出成長加速化補助金	①PR動画 ②Webベンチャーイベント ③ベンチャー企業応援サイトHAMACT!! ④PR TIMESと連携した情報発信 ⑤首都圏ビジネス情報センター	①実証実験サポート事業 ②「ものづくり×ベンチャーによるイノベーション創出 ③ベンチャー支援アドバイザー ④スタートアップ都市推進協議会 ⑤誘致パートナー制度 ⑥首都圏企業拠点誘致事業 ⑦グローバルものづくり企業連携事業

カネ

ファンドサポート事業 (H31～)

市内におけるスタートアップ投資の活性化を通じ、市内スタートアップにとってアクセス可能な資金調達手段を増やすため、ベンチャーキャピタル等が市内のスタートアップに投資しやすい環境整備を行う。

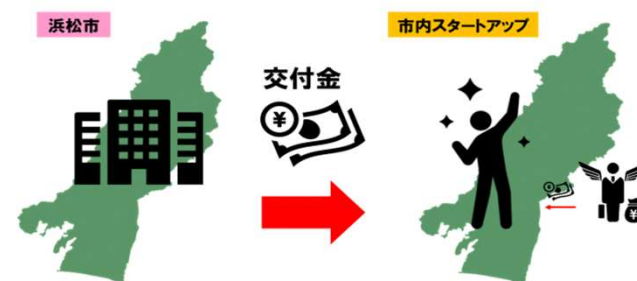
1 浜松市がベンチャーキャピタルを認定



2 認定VCが市内スタートアップに投資



3 浜松市が市内スタートアップに交付金



認定VCは23社(R3.3時点)

大和企業投資、リアルテックジャパン、グローバル・ブレイン、静岡キャピタル、ANOBACA、栖峰投資ワークス、信金キャピタル、SMBCベンチャーキャピタル、日本テクノロジーベンチャーパートナーズ、インキュベイトファンド、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ、Beyond Next Ventures、DRONE FUND、Monozukuri Ventures、Bonds Investment Group、りそなキャピタル、JMTCキャピタル、スカイランドベンチャーズ、イーストベンチャーズ、Kips、デフタ・キャピタル、イノベーション・エンジン、ケイエスピー

【ヒト・技術】

【モノ】

【カネ】

【情報】

【総合】

■R1 採択企業(3社)



■R2 採択企業(10社)



＜ファンドサポート事業の事例＞



×



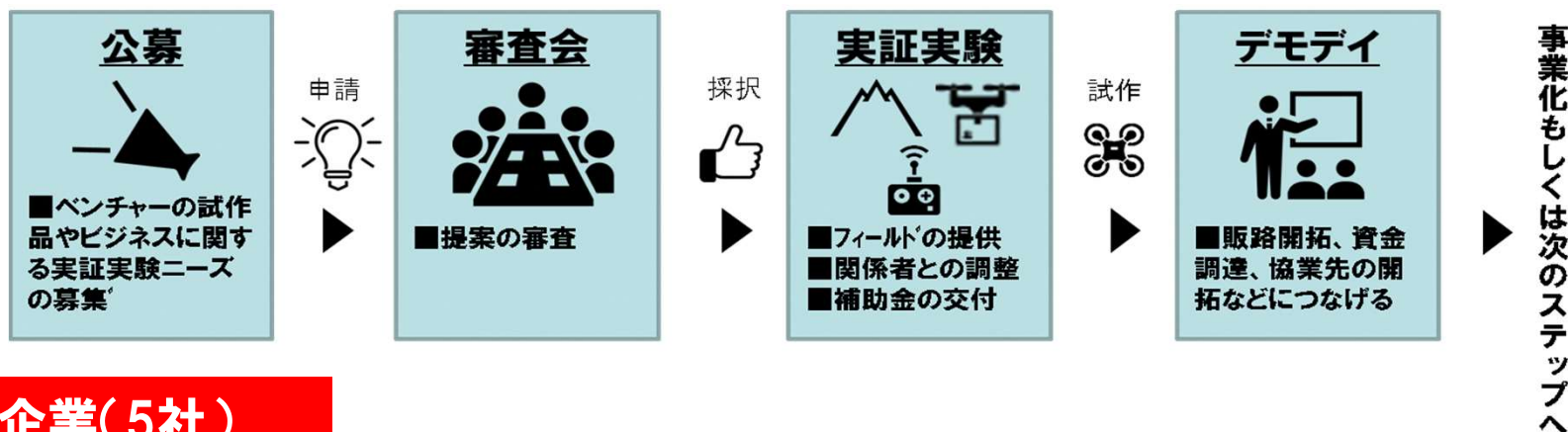
ロボットを使った検査工程の自動化とサプライチェーンを超えたデータ連携



総合

実証実験サポート事業（H31～）

今後の飛躍的な成長が期待されるスタートアップ等が浜松市内で実証実験を実施する際に、各種支援を行う。



■R1 採択企業(5社)



Triple W



PERCEPTIN



Musicalu

■R2 採択企業(7社)



【ヒト・技術】

【モノ】

【カネ】

【情報】

【総合】

<実証実験サポート事業の事例>



PERCEPTIN

× 中山間地域(浜松市天竜区水窪町)

Liderや3Dマップを使わない自動運転システムの開発スタートアップ

超小型モビリティの自動運転・公道走行

中山間地域におけるラストワンマイルでの利用可能性を検証。10km程度の低速走行のため、通常の自動運転車の1/10の価格での提供が可能。

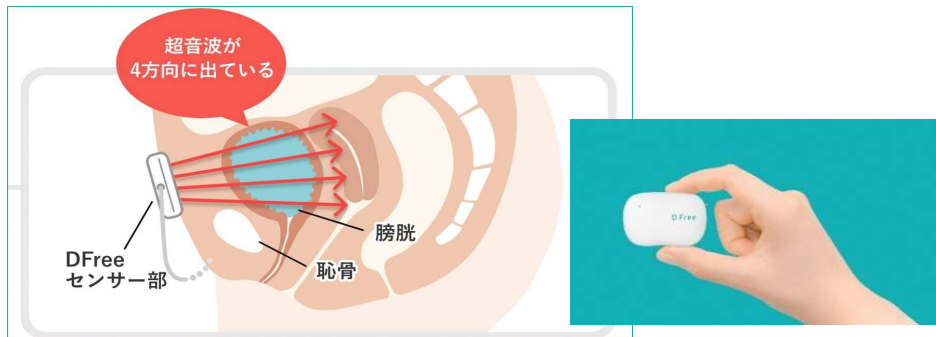


Triple W

× 西山病院

排泄予測デバイスの開発スタートアップ

ウェアブル排泄予測デバイスによる排泄機能の回復



排泄予測デバイスを活用した「うながし排尿」の実施によって、失禁の減少、在宅復帰の早期化等の効果を検証。

ヒト・技術

Next Innovator育成事業（新規）

時代の変化に対応し、社会課題を解決できるビジネスを創出できる人材を育成し、スピンオフや大学発などのスタートアップ創出を加速させることで、地域経済の活性化を図る。

起業を志す
人材等



全国から募集



Next Innovator
育成プログラム



ビジネスプランの
ブラッシュアップなど



起業



浜松市で法人登記



ビジネスの成長加速

浜松市等からの
集中支援



専用ホームページ



浜松市長 鈴木康友からのメッセージ



【ヒト・技術】

【モノ】

【カネ】

【情報】

【総合】

Ⅱ. 地方自治体の取組

2. 民間組織との連携

(1) ベンチャー支援アドバイザー

浜松バレー構想の実現に向けて、本市のスタートアップ支援政策を高度かつ戦略的に実施していくため本市に対して、専門的立場から以下の4人の方に助言指導等をいただいている。

①スタンフォード大学 主任研究員 医師 池野 文昭 氏

②株式会社日本総合研究所 プリンシパル 東 博暢 氏

③弁護士法人内田・鯨島法律事務所 代表パートナー 鯨島 正洋 氏 ※令和3年4月9日～

④株式会社イスラテック 代表取締役 加藤 清司 氏 ※令和3年7月30日～

(2) 浜松市と浜松磐田信用金庫との「スタートアップ・エコシステム」の形成に向けた相互協力及び連携に関する覚書

令和3年7月、双方の相互協力及び連携のもと、双方の資源を有効に活用した協働により、浜松地域において「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」を実現し、持続的な地域の発展に資することを目的に締結。

Ⅱ. 地方自治体の取組

3. 内閣府及び他の自治体等との連携

(1) 内閣府「オープンイノベーションチャレンジ」の積極的活用

革新的な技術やアイデアをもつスタートアップ等とのコラボレーションによる地域課題解決や市民生活の質の向上を図る。

2019年は、**本市から提案した「中心市街地におけるムクドリ被害対策」**のテーマに対して、**市内のスタートアップであるパイフォニクス(株)が認定企業**となった。

2021年は、**本市から「地中に埋設された水道管の腐食度合や劣化度合の検知技術」「消火及び救助活動中の各消防隊員の位置・健康状態のモニタリング技術・アイデアの探索」**のテーマを提案した。

(2) スタートアップ都市推進協議会(事務局:福岡市)

■参加自治体:三重県、広島県、青森市、千葉市、つくば市、別府市、福岡市、**浜松市**

■主な取組内容:

スタートアップ企業と大企業との出会いや交流、新たなビジネスを創出するオンラインマッチングイベントを開催

令和3年1月18日(月)、19日(火)「JAPAN STARTUP SELECTION the 7th Edition」

一般社団法人熱意ある地方創生ベンチャー連合と共催でオンラインイベントを実施

令和2年7月11日(土)「地方創生ベンチャーサミット2020」

令和3年2月27日(土)「地方創生ベンチャーサミット2021」

(3) 静岡県との連携

「Tech Beat Shizuoka2020」(令和2年7月15,16日)、「Tech Beat Shizuoka for Medical startups(11月25日)」

静岡県と静岡銀行が中心に開催している、全国のスタートアップと県内企業とのビジネスマッチング(登壇、事業後援など)

Ⅲ. 民間組織の取組

1. 地域で活動するアクセラレーターや地域企業の取組

(1) アクセラレーターの取組

① チャレンジゲート(2013～)

浜松磐田信用金庫主催の先輩経営者等によるアクセラレーション機能を有するビジネスプランコンテスト

② 経産省のグローバル起業家育成プログラム「始動Next Innovator」への積極的な挑戦(2015～)

過去6回で、**本地域から13人(延べ数)**が本プログラムに参加し、うち**5人がシリコンバレー派遣プログラムに出**された。本プログラムのアルムナイ(卒業生)を中心とするスタートアップのコミュニティが地域に根付いている。

③ Co-Startup Space & Community「FUSE」(浜松磐田信用金庫)におけるアクセラレーション(2020～)

スタートアップ支援拠点Co-Startup Space & Community「FUSE」においてアクセラレーションを実施。

(2) 地域企業の取組

スズキ株式会社、ヤマハ株式会社、株式会社ソミックマネジメントホールディングスなどは、民間のアクセラレータープログラムなどに参画・協力しつつ、スタートアップとの取組やオープンイノベーションの推進している。**浜松ホトニクス株式会社**は、**光産業創成大学院大学を設立**し、光技術を応用するスタートアップ創出を促進。

(3) 地域のキーパーソン・インフルエンサーの取組

浜松の5人のスタートアップ経営者が結成した「**Hamamatsu Venture Tribe**」が引き続き、**スタートアップ情報メディアの発信**など、地域のスタートアップコミュニティを盛り上げているとともに、当地域のスタートアップの**ロールモデルとして、他のスタートアップを牽引**している。

IV. 大学の取組

1. 地域における大学のスタートアップ創出や起業家教育等の取組

(1) 静岡大学の取組

大学発スタートアップに対し「インキュベーション施設の提供」、「起業計画のブラッシュアップ」、「資金調達のアドバイス」、「販路開拓サポート」、「静大ファンドの提供」などの支援を実施。現在、**(株) ANSeeN**、**(株) エクサウィザーズ**等、当大学発スタートアップとして**36社**生まれている。

静岡大学EDGE-NEXT事業「起業・ビジネス人材育成ゼミ(アイザワゼミ)」、「トップガン教育システム協議会」等を開講している。

(2) 浜松医科大学の取組

「はままつ医工連携拠点」の取り組みを通じ、医療や介護の現場の課題やニーズを解決する製品や事業のアイデアの実現性を検証する「医工連携スタートアップ支援事業」を実施。医科大学でありながら大学発スタートアップ支援制度を有し、**(株) プレッパーズ**、**NanoSuit (株)**、**(株) はままつメディカルソリューションズ**等、当大学発スタートアップが複数生まれている。**(株) プレッパーズ**と**NanoSuit(株)**は、**JSTの大学発新産業創出プログラム「START」を活用**し、起業された。

(3) 光産業創成大学院大学の取組

「最先端の光技術」から「起業に必要な知識」まで光技術を活用したビジネスに必要な教育プログラムを提供。2019年から、光をテーマとするビジネスプランコンテスト「Photonics Challenge」を開始。当大学からも**パイフोटニクス (株)**等、当大学発スタートアップとして**30社以上**生まれている。

文科省事業(令和2年度補正予算)の「**SCORE・拠点都市環境整備型**」に、Central Japan Startup Ecosystem Consortiumとして採択。

■実施予定期間：2021年4月～2022年3月 ■主 幹 機 関：名古屋大学

■共 同 機 関：豊橋技術科学大学、岐阜大学、三重大学、名城大学、中京大学、藤田医科大学、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、**光産業創成大学院大学**、愛知県立大学、愛知県立芸術大学

IV. 大学の取組

【参考】A-SAP（エーサップ）産学官金連携イノベーション推進事業

浜松地域イノベーション推進機構内のフotonバレーセンターが2018年から実施している。静岡県の中⼩企業のためのプロジェクト型技術支援事業光・電子技術を活用して中⼩企業の新産業創出と既存事業の高度化を推進することが目的。中⼩企業の課題に応じて、大学の研究者とのマッチングを行い、研究者がプロジェクトを立案し、研究者がリーダーとなって、中⼩企業の協力のもと、プロジェクトを実施。



スタートアップの事例



MORE

構造用合板のレーザ加工

株式会社鈴三材木店・株式会社里灯都×光産業創成大学院大学



MORE

省エネクレープロボット

株式会社モリロボ×静岡大学

V. 都市の環境・繋がり状況

1. スタートアップ支援の中心となる施設・場

スタートアップのための総合支援

(1) Co-Startup Space & Community「FUSE」（浜松市中区鍛冶町100-1）

浜松磐田信用金庫が運営する創業・第二創業、新事業展開を志す方々への伴走支援を行う拠点。約1500㎡の施設内にコワーキングスペース、ファブスペース、イベントスペース、講座室、カフェ、トライアルキッチンなどの様々な機能を備え、コミュニティ・ビルダーが常駐するほか、アクセラレータープログラムも充実している。
コンソーシアム間の具体的取組として、各拠点におけるスタートアップ支援施設の連携を推進していく拠点。

起業支援

(2) はままつ起業家カフェ（浜松市中区東伊場2-7-1浜松商工会議所会館1F）

本市、浜松商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構が共同で設置する起業・創業に関するワンストップ総合窓口。起業相談、交流会、セミナーなどを実施。



(3) イトリエ（浜松市浜北区貴布祢265-8）

浜北商工会が運営するコワーキングスペース。3Dプリンタやレーザーカッターなどが利用できるファブスペースやスタートアップが活用できる事務室などを備えるとともに、起業相談、セミナーなどに対応する。



研究開発型スタートアップの支援

(4) 浜松イノベーションキューブ（浜松市中区和地山3-1-7）

中小機構が運営する研究・開発型VBを対象としたインキュベーション施設。本市はインキュベーションマネージャーの設置や入居者に対する賃料補助でサポートしている。



V. 都市の環境・繋がり状況

2. スタートアップや支援者の交流する場



(1)～(4)は市営もしくは市借り上げ
それ以外は民営

(3) 中山間地域トライアルオフィス

(浜松市天竜区二俣町二俣1283-1)

本市が運営するコワーキングスペース。中山間地域のキーパーソンとのコーディネートや創業講座やイベントなどに対応する。



中山間



Dexi
Shift to the future work

浜名湖

(2) 浜松市舞阪サテライトオフィス

(浜松市西区舞阪町舞阪2701-9)

浜松市が運営するスタートアップを対象としたオフィス。事務室6室のほか、共有スペースを備えており、打ち合わせやイベント開催等で自由に利用できる。

都市部



The Garage for Startups



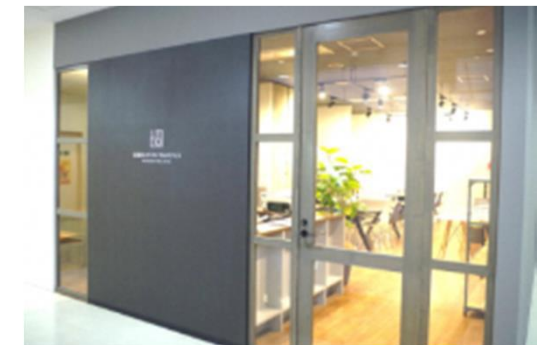
Any
A Nightly Yard

首都圏（東京）



(4) WeWork、CIC

入居企業や首都圏の支援者との交流を通じて、本市のスタートアップ支援策につなげる。



(1) はままつトライアルオフィス

(浜松市中区鍛冶町100-1)

本市が運営するコワーキングスペース。毎週金曜の夜にピッチ大会や勉強会等を開催するとともに、月1回交流会を開催している。